

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 に向けた啓発活動について

1. 大会マスコットキャラクターの活用

大会マスコットキャラクター「キャプフィー」「チャップフィー」を積極的に活用し、広報物品等へのイラストの使用や着ぐるみによる県内イベントでのPR活動を実施。

◇イベント等での広報・啓発活動の実績(平成30年度)

- ・第35回大津っ子まつり(皇子が丘公園:5/20)
 - ・チャップフィー誕生日記念撮影会(県庁:6/13)
 - ・「みんなで創る健康しが」キックオフイベント
(イオンモール草津:7/21)
 - ・第3回BIWAKO湖フェス2018(サンシャインビーチ:8/4)
 - ・イナズマフードグランプリ in草津(JR草津駅東口 西友跡地:8/12)
 - ・カゴメ劇場(びわこホール:8/24) ※
 - ・日本生命みんなの2020全国キャラバン(イオンモール草津:9/1~2) ※
- ※は、県と企業との包括的連携協定による取り組み



<イベントでの様子>

(今後の予定:主なもの)

- ・じんけんフェスタしが2018(ピアザ淡海滋賀県立県民交流センター:9/17)
- ・イナズマロックフェス2018(烏丸半島:9/22~24)
- ・滋賀県障害者スポーツ大会(布引運動公園:9/30)
- ・近江ゆかりの会(品川プリンスホテル:10/16)
- ・ご当地キャラ博in彦根2018(彦根市夢京橋キャスルロード周辺:10/20~21) ほか

2. 出前講座の実施

各種企業・団体を訪問し、例会等の場で両大会の開催と寄附募集活動について周知。

◇出前講座の実績(平成30年度)

- ・滋賀県経済団体連合会と行政の連絡調整会議(5/10)
- ・滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合 総会(5/14)
- ・滋賀県医師会 地域職域医師会長会議(5/17)
- ・専任手話通訳者会議(5/24)
- ・守山商工会議所 常任委員会(7/10)
- ・郡市体協研修会(7/11)

3. 募金活動の実施

大会マスコットキャラクターを活用した募金グッズ等を製作し、イベントでの募金活動を実施。また、昨年度開設した大会専用ホームページを活用し、広報・募金の両面から周知。

◇募金グッズ



<イベントでの募金活動の様子>

300円 342枚

◇街頭募金

両大会の周知や機運醸成を図るとともに、寄附を通じた両大会への参加を促す契機とするため、県内アスリートの皆さんのご協力を得て、次のとおり街頭募金を実施。

(日時・場所)

平成30年9月21日(金) 17:45~18:15

JR石山駅およびJR彦根駅

(参加予定者)

- ・開催準備委員会会長(滋賀県知事) 三日月 大造
- ・開催準備委員会副会長(滋賀県議会議長) 川島 隆二
- ・滋賀県スポーツ協会、滋賀県障害者スポーツ協会の皆さん
- ・東レアローズ 女子バレーボール部
- ・近江高等学校 野球部
- ・立命館大学、びわこ成蹊スポーツ大学のアスリートの皆さん
- ・江上 陽子選手(パラバトミントン)
- ・田中 浩二選手(シッティングバレー)



<昨年の街頭募金の様子>

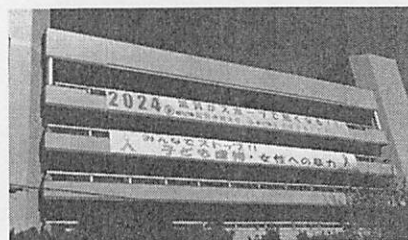
◇これまでの寄附実績 (H30.9.3 現在)

寄附の種類	寄附金額	
	平成30年度	累計
個人	32,400円	6,444,924円
企業・団体	27,004,227円	104,599,488円
イベント	17,751円	543,648円
募金箱	6,812円	141,889円
マスコット使用料	13,500円	13,500円
合計	27,074,690円	111,884,899円

4. 滋賀県大津合同庁舎への横断幕の掲出

両大会の周知および県内の機運醸成を図るため、横断幕を掲出。

- ・場所
大津合同庁舎南側壁面（JR線路側）
- ・掲出期間
平成30年10月1日（月）～10月31日（水）



<横断幕の掲出状況>

5. モザイクアートポスターの制作

両大会の周知や機運醸成を図るため、広く県内外からテーマに沿った写真を募集し、その写真を使用したモザイクアートポスターを製作。完成したポスターについては、平成31年度より県内の学校、各種施設（スポーツ、文化、レジャー等）に掲出予定（約700カ所）。

- ・募集する写真のテーマ
「滋賀県の魅力またはスポーツ・運動の魅力」
- ・募集期間
平成30年9月20日（木）～11月30日（金）
- ・募集方法
SNS (Instagram, Twitter) やメール、インターネット（しがネット受付サービス）のいずれかの方法で受付。



東京都



和歌山県

<先催県での実施例>